

# 格差・貧困



# と憎悪

反貧困ネット  
北海道  
学習会

憎しみはなぜ隣人に向かうのか

11月10日(土) 13:30~

●会場／市民活動プラザ星園 会議室 大  
(札幌市中央区南8条西2丁目 旧星園高校)

●資料代／一般 1000円  
反貧困ネット北海道会員 700円

申し込み  
不要

〈主催〉反貧困ネット北海道

〈後援〉札幌地域労組、札幌ローカルユニオン「結」

講師

ジャーナリスト  
藤田和恵さん

ジャーナリスト  
安田浩一さん

ジャーナリスト  
安田浩一さん

さまざまなかたちで語り尽くされてきた我が国の格差・貧困問題がなかなか解決に向かいません。問題の深刻さに比べると、解決に向かうスピードは極めて遅いと言わざるを得ないでしょう。

「政権交代」への期待も、政治が混乱を極めるなかで急速にしぼんでゆき、今では、「既得権益」に切り込む、橋下市長のような「強い政治家」、「決められる政治」を待望する空気が社会に蔓延しています。

そうしたなかで、「既得権益」バッシングも背景にしながら、当事者である非正規労働者や失業者の怒りは、職場を変えよう、社会を変えよう、という方向にはなく、「あいつらは恵まれ過ぎだ」と、隣で働く正規労働者や公務員あるいは労働組合に向かっているかのようです。

もちろんそれに対して、「いやその考えは間違っている、そこで切り捨てられるのは私たちみんなの権利である」と反論するのはたやすいことです。しかしながらそれではお互いを理解したことになるのは無論のこと、「反貧困」という運動を広げてゆくこともできないでしょう。

いま私たちは、格差・貧困が生み出すこうした問題を直視する必要があるのではないかと考え、今回の学習会を企画しました。ご活躍のジャーナリストお二人をお招きしての貴重な機会なので、ぜひご参加下さい。



## PROFILE

藤田和恵●雑誌『世界』に「非正規公務員」を連載し、公務員の賃金・労働条件の切り下げを容認する非正規職場の状況をまとめています（ほかにも『民営化という名の労働破壊』『公共サービスが崩れてゆく』など著書多数）。

安田浩一●『ネットと愛国』（講談社ノンフィクション賞、JCJ賞を受賞）で、格差・貧困のひろがりのなか、人種差別的なあるいは「愛国」的な「空気」が醸成されていく現状を問題提起しています（ほかにも『ルポ差別と貧困の外国人労働者』『外国人研修生殺人事件』など著書多数）。

問い合わせ先

反貧困ネット北海道

札幌市中央区南8条西2 市民活動プラザ星園305

☎011-533-3778 ✉hanhinkondo@yahoo.co.jp

<http://www015.upp.so-net.ne.jp/hanhinkondo/>

反貧困ネット北海道

検索